

要式第 1 号

会 議 録

会 議 の 名 称	平成 2 8 年度 第 1 回公民館運営審議会
開 催 日 時	平成 2 8 年 5 月 2 6 日 (木) 午後 2 時 ~ 4 時
開 催 場 所	所沢市役所 3 階 全員協議会室
出 席 者 の 氏 名	斎藤敏男、伊藤賢治、鹿島正之助、藤野邦夫、内野幸雄、越阪部芳加、三原由紀子、本橋賢一、高柳進、浅田衛、佐藤一子
欠 席 者 の 氏 名	山本直子、梁瀬正明、倉持伸江、中里市三
説明者の職・氏名	教育総務部長・美甘寿規、教育総務部次長・師岡林、中央公民館長・内堀耕介、小手指公民館長・島崎敬一、富岡公民館長・斎藤洋一、吾妻公民館長・比留間嘉浩、柳瀬公民館長・鈴木明彦、松井公民館長・須田静男、新所沢公民館長・澤田孝男、三ヶ島公民館長・豊泉清喜、山口公民館長・仲正之、新所沢東公民館長・酒井忠夫、並木公民館長・阿部美和子、生涯学習推進センター所長・倉富恵理子、市民部 地域づくり推進課主幹・青木一圭
議 題	(1) 公民館事業について 各公民館の事業内容について 地域づくりにつながる公民館事業 (2) その他
会 議 資 料	平成 2 7 年度公民館事業報告集
担 当 部 課 名	教育総務部社会教育課 安田幸雄課長、田中和子主査、西村公輝主事 電話 0 4 (2 9 9 8) 9 2 4 2

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
<p>部長</p>	<p>1 開会</p> <p>社会教育課長の司会により開会した。</p> <p>2 あいさつ</p> <p>本日は教育長が不在ですので、私が代わりにご挨拶させていただきます。本日はお忙しい中、第1回公民館運営審議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。日頃は市の公民館運営にお力添えいただき、ありがとうございます。新年度を迎え、社会教育課では課長が代わり、公民館でもまちづくりセンター長が3名代わっております。また昨年度は、人間地区公民館連絡協議会の会長を須田センター長が務めたという経緯もあり、こういった公民館の新たな活動の報告がなされているところでございます。</p> <p>公民館におきましては子育てや健康、地域コミュニティ等、生活に密着した分野から知識や教養、様々な学習機会を提供しているところでございます。平成23年の4月にまちづくりセンターが開設されてから既に5年が経過しております。こうした中で11地区のうち8地区に地域づくり協議会が設立され、公民館業務の役割についても様々なご意見をいただいているところでございます。公民館の機能と出張所の機能、これらがあわさったということで、管理の二元的な問題等からも、市民にわかりやすく利用しやすいまちづくりセンターの運営が課題となっているところでもございます。</p> <p>それぞれまちづくりセンターにおきましては、地域ごとの特色に応じて地域課題を解決するような事業を企画、立案し、地域住民を巻き込んで社会教育による地域づくりを進めていくことが必要ではないかと考えています。</p> <p>本日はまちづくりセンター長も出席しておりますので、それぞれの地域の特色を生かしたまちづくりセンターの運営や公民館事業について、ご報告させていただきたいと考えております。今、センターでは、それぞれの地域の情報の発信の仕方も工夫を凝らして取り組んでいるような状況もございます。委員の皆様におかれましては、こうした視点も含めまして、今後の公民館事業の在り方について大所高所からご意見をいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>司会</p>	<p>続きまして、所沢市公民館運営審議会委員長の内野様からごあいさつをいた</p>

<p>委員長</p>	<p>だきます。</p> <p>本日はお忙しい中、第1回公民館運営審議会にご出席いただき、ありがとうございます。今年はずいぶん平穏な年かと思いましたが、熊本で震度7の地震が2回起きました。これは観測史上初の出来事でした。4月になっても未までは震度5程度の地震があり、一昨日の新聞にも熊本において地震活動はまだ収まっていないと載っていました。熊本、大分では損壊した住宅が10万戸あるそうで、避難者はピーク時で18万人にものぼったそうです。被害者の皆様には気の休まる思いがしなかったことと、大変お気の毒に思います。私は過去に3回熊本城に見学へ行ったことがあります。立派なお城でして、これからあれだけ崩れた城を修復するのは大変なことだと思います。それから10日程前にも茨城県で震度5弱地震がありました。埼玉県東側でも震度4ということで、今年はずいぶんあちこちでそういった地震があり心配な年になると私は思っていますが、所沢は災害が少ない地域なので大丈夫かなとも思います。</p> <p>いずれにいたしましても、本日は公民館事業の審議に入るわけですが、委員の皆様にはご意見をいただきながら会議を進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
<p>司会</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日は山本委員、倉持委員、梁瀬委員、中里委員より欠席のご連絡をいただいております。続きまして、公民館長である「まちづくりセンター長」に異動がありましたので、新しく任命されたセンター長に自己紹介をお願いします。</p> <p>(所沢まちづくりセンター長、山口まちづくりセンター長、並木まちづくりセンター長自己紹介)</p>
<p>司会</p>	<p>本日はまちづくりセンターを統括している地域づくり推進課から青木主幹が出席されていますので一言いただきます。</p> <p>(青木主幹自己紹介)</p>
<p>司会</p>	<p>社会教育課も異動がありました。</p> <p>(社会教育課課長、主事自己紹介)</p>
<p>司会</p>	<p>昨年度まで粕谷主査が当審議会の書記を務めていましたが、今年度からは社</p>

	<p>会教育課の西村主事をお願いするということによろしいでしょうか。</p> <p>(出席者の承認を得る)</p>
司会	<p>ありがとうございます。それでは議事に先立ちまして、配布資料の確認をさせていただきます。</p>
	<p>(配布資料の確認)</p>
司会	<p>本日の議題につきましては、公開することとなっております。 本日の傍聴者は0人です。</p>
	<p>3 議事 (1) 公民館事業について 各公民館の事業内容について</p>
委員長	<p>それでは本日の議題は「公民館事業について」ということで、次第にしたがって進めていきたいと思えます。 では「各公民館の事業内容について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>平成28年度1回目の会議ということですので、最初に、資料の平成27年度公民館事業報告集を参考に、各まちづくりセンター長より各公民館の事業について、ご説明をいただきたいと思えます。また、現在、事業を行う上で、課題となっているような事項がありましたら、そのことも併せて説明していただければと思えます。</p>
館長	<p>中央公民館で力を入れている事業を紹介させていただきます。まず「ナチュラルリッジクラブ」です。こちらは青少年を対象としまして、自然観察や郷土料理作りの講習会、あるいは体験をしていただく事業でございます。 次に「ラケットテニス講習会」。平成27年度から始めた事業でございます。小学生から高齢者の方まで幅広く参加していただいております。明峰小の体育館をお借りして日曜日の夕方に実施しております。非常に好評で、ゆくゆくはサークルを作っていただいて、学校開放につなげていくことを検討しているところでございます。 次に「中央亭の寄席」でございます。毎年実施している事業でございますが、非常に人気がありまして、整理券を配って開催しており、多くの方に来場していただいているところでございます。</p>

<p>館長</p>	<p>また、資料にはないのですが、中央公民館には、「元町コミュニティ広場」というものがございまして、こちらは中心市街地の活性化のために非常に活用しています。所沢祭りやタワー祭りに利用したり、テレビ撮影のスポットとしてお貸ししたりもしています。また、ロビーを所沢中学校の生徒が作った美術品の展示等に利用していただいたりもしています。</p> <p>小手指地区につきましては本館と分館の2つ施設がございまして、それぞれ特徴のある事業を展開しております。</p> <p>まず分館の事業ですが、分館につきましては、駅に近い施設ということで、赤ちゃんをお持ちになるお母さんや、赤ちゃんを対象とした事業を展開しております。「赤ちゃん広場」は前期中期後期の3つに分けて開催しております。乳幼児の救急講習なども行い、毎回定員数を大幅に上回る、大変好評な事業でございます。そして「子育てサロン」という赤ちゃんとお母さんを対象とした親子交流事業も実施しております。</p> <p>本館の事業に移りますが、「小手指リハビリ交流会」は、中途障害になられた方に家庭に閉じこもらないで公民館に来ていただくことを目的として、保健センターと共催で実施している事業でございます。</p> <p>また、人材育成を目的としている事業として、「さつき展」、「菊花展」、「小手指ジャンボリー」、「ソフトボール大会」、「体育祭」、「グランドゴルフ大会」、「ふれあいウォーク」があります。この中で、本館で目玉となっているのが、「小手指ジャンボリー」です。こちらは異世代間の交流事業ということで、地域の小学校に声をかけ、小学生と地域のボランティアの方々に協力をいただきまして、楽しく1日を過ごしている事業でございます。</p>
<p>館長</p>	<p>平成27年度に富岡まちづくりセンターで行った主な公民館事業について説明させていただきます。夏休みに子どもたちに様々な体験をしてもらうことを目的とした、「富岡キッズチャレンジ」を開催しております。アクセサリー作り、ヒップホップダンス、スポーツ吹矢、万華鏡作り、団子とデザート作り、スライム作りの6種類のプログラムを用意しましたところ、申し込みが殺到しまして、キャンセル待ちが出るほどの大人気の講座となりました。</p> <p>また、幼児向け事業として、0歳児赤ちゃんとお母さんを対象とした「コアラのおやこ」、未就学児の親子を対象とした「きりんの親子」等を開催しました。こちらは地域ぐるみで子育てを応援する講座となっております。</p> <p>その他、富岡地域づくり協議会や富岡まちづくり協議会と共催でスポーツ事業を実施しておりまして、大人向けにはソフトボール大会、子ども向けにはキ</p>

	<p>ックベースボール大会等を開催しました。また、地域が一体となって行われる体育祭では、富岡地区にある全18自治会すべてが参加して熱い戦いをくり広げながら交流を図っております。また文化祭では、富岡まちづくりセンターで日々活動しているサークルの成果発表の場として大いに盛り上がっております。</p> <p>最後に、富岡地区に伝わる「まゆ玉まつり」は農作物の豊作を祈願するという行事でありまして、子どもから大人まで幅広い年齢層の方が参加しました。こちらは富岡地区に語り継がれていく伝統伝承行事となっております。</p> <p>吾妻公民館の平成27年度の主な公民館事業を、全体を通して説明させていただきます。まず退職前後の方を対象に、地域コミュニティ、仲間作りを目指しまして、「会社人間から地域人間に」というテーマで「セカンドライフカレッジ」を開催いたしました。</p> <p>また、県立所沢高等学校化学部の生徒さんが講師になりまして、葉脈標本作りや液体窒素の実験が行われた「子ども化学実験教室」では、化学の不思議を子どもたちが体験しました。</p> <p>また、夜間講座と銘打ち、午後7時から開講する講座、「もしも家族が倒れたら。介護する人、される人。」を開催し、介護をする立場から介護サービスの受け方等を盛り込むことで、現在ご家族の介護をされている方など、多くの方が参加しました。夜間講座ということで、普段働きに出ている方の参加がありました。</p> <p>その他にも、毎月定例で行っている事業として、子育て中の親子の交流、仲間作り、初めての子育て中の保護者の支援となる場としまして、「子育て広場」や、音楽を通じて寝たきりや引きこもりを防ぎ、地域コミュニティの推進を図ることを目的としました「音楽ひろば」等、地域コミュニティやまちづくり、仲間作りを中心に様々な講座、イベントを公民館で開催しました。</p>
館長	<p>柳瀬公民館の主だった事業を説明させていただきます。まず、「麦刈りから食卓まで」という事業がございます。地域との絆、連携を図ることを目的としまして、柳瀬民族資料保存会の方の協力を得て、毎年行っている事業でございます。前年の11月に前年度の参加者と保存会の方が撒いた麦を、6月に収穫しております。保存会の方を中心として、小学生と一緒に麦刈りをし、乾燥させたものをその2週間後に脱穀作業していただきます。その際も柳瀬民俗資料館にある昔の農機具を実際に使用しております。お子さんだけでなく、一緒に参加した保護者の方でも体験したことのない機械を使って実際に脱穀していただいております。その後、脱穀したものを粉にし、11月に翌年度の方のた</p>

	<p>めに麦撒きをした後、収穫祭ということで、保存会の方々が中心となって手打ちうどんを作って、子どもたちと皆が食べるといったものが、食育事業という点も含み、行われています。</p> <p>それ以外に、子どもを対象とした事業では、夏休みに今まで行っていた工作や科学教室だけではなく、女の子向けの事業が少ないという声にも応える形で、昨年度初めて「フラワーアレンジメントを作ろう」という事業を行いました。こちらに参加したお子さんの感想としましては、「学校ではなかなかできない様な、体験ができて楽しかった。」という声がありました。女の子だけではなく、男の子も楽しく参加しました。</p> <p>また柳瀬公民館の特色として一番大きく挙げられるものが、地域と中学校の合同体育祭でございます。こちらは昨年で第14回を迎えた、柳瀬地区と柳瀬中学校の合同体育祭です。これは、市内はもちろん、県内でも柳瀬だけではないかといわれております。地域対抗の種目もクラス対抗の種目もあります。また、合同で競技に参加して交流や絆を深めていただいております。この体育祭を通じて地域行事の繋がりが出来ているという声を、地域の方からいただいております。</p>
館長	<p>松井公民館では29の事業を行っておりますが、年々利用者人数は減少している状況です。メインとなる事業は、地域を主体に一体となって行う事業を考えていこうということから、「まつい三世代まつり」、「松井地区文化祭」、「成人のつどい」等があります。</p> <p>またスポーツ関係の「ウォークラリー大会」は地域全体と協議会とが共催で、参加を募り広めていく様な形に変わってきています。そういった事業に関しましては、参加者も上向きになって安心しておりますが、今後の課題としましては、高齢者や子どもたちが参加しやすい、地域のつながりのある事業を検討して行っていきたいと考えております。</p>
館長	<p>新所沢公民館の主だった事業を紹介させていただきます。</p> <p>まず「フレッシュ・カレッジしんとこ」ですが、これは年数が古く、昨年度も定員80名のところ100名以上の方の応募がありまして、抽選会を行うほどの人気がある講座でございます。「人と人との出会いの場、交流の場」を目的に、昨年度は「国木田独歩の武蔵野」の散策を行ったり、朝日新聞社本社を見学したり、様々な内容の企画を行っております。</p> <p>また子育てに関する講座を数多く行っておりますが、その中の「子育て学級」は、子育ての知識を得つつ、地域に仲間作りをするということを目的に、地域で子育てを終えたお母さま方に保育のスタッフになっていただいて、子育てに</p>

館長	<p>関する知識を若いお母さま方に伝えていて、人気の講座となっております。</p> <p>そして「広報紙作り教室」は、中央公民館と以前から共催で行っているのですが、小学校の広報活動を充実させようということで、PTAの方々に集まっていたいただいて広報紙の作成をしていて、最近ではSNSやWEBサービス等も内容に取り入れております。</p> <p>次に昨年で41回目を迎えた「ワンパクスクール」は小学3年生から中学生を対象に異年齢の子どもたちで宿泊体験をして、集団生活や上下関係の築き方を身に着けつづけることができる講座となっております。このスクールを卒業した方の中には、リーダー的な形で参加してくださっている方もいます。</p> <p>この事業報告集には載っていませんが、夏休みの企画としまして、登録サークルと共催で子どもたちと折り紙やデコパージュをする教室を昨年度初めて実施しました。おじいちゃんおばあちゃんにあたる年代の方々の手ほどきを受けて、楽しい時間を過ごしていただいたと思っております。</p> <p>三ヶ島地区には、豊かな自然と地域の方々を支えられた公民館という特色があります。その特色の中から二つの事業をご紹介します。一つ目は、親子を対象とした「いもづる夏を越しさつまいも講座」です。こちらは地元の農家の方に畑を提供していただきまして、親子や子ども、お年寄りの方に参加していただき、最初の植え付けから収穫までのさつまいも作りを通じまして、自然と触れ合い、世代間交流、畑を作っている地域の方との交流を深めています。また、ホームページに成長記録をアップすることで講座のPRをするともに講座の参加者の方には成長過程を見てもらえるようにしています。</p> <p>二つ目は「竹でつくろう水てっぽうづくり講座」です。こちらは小学生を対象に行っています。三ヶ島地区の公民館協力会の役員の方や公民館事業等運営委員会の方の協力をいただき、地域でとれた竹や篠を材料にして、水鉄砲を子どもたちと作り、公民館の庭で水鉄砲遊びを体験するという講座となっております。また、帰りに地域でとれたカブトムシも配られるということで、子どもたちにとっては夏休みの貴重な体験になっています。それとともに普段顔を合わせない地域のお年寄りの方々と、楽しい時間を共有することもまた貴重な体験だと感じております。</p> <p>この様に子どもたちが様々な講座を体験することで、三ヶ島まちづくりセンターや地域の方を知ってもらうきっかけになり、中学生、高校生になり三ヶ島地区体育館等を使い、成人のつどいでまた公民館に集う。そして生涯学習の利用としての公民館、また地域づくりの人材としてのまちづくりセンターになる。そういった流れを期待しています。</p>
----	---

<p>館長</p>	<p>山口公民館の事業全体を通して言えるのは、山口地区自体の高齢化が進んできているということです。高齢者の方にどう対処していくのか、また新しい流れをどのようにして作るかということで公民館事業を進めています。事業をピックアップして説明します。</p> <p>まずは教養の向上ということで、「子ども囲碁教室」です。青少年の方に囲碁の楽しさを体験させ、合わせて伝統文化の復旧を図ることを目的としています。しかし実際には新しいお子さんが入ってきていない状況が見受けられますので、今後どのような形でPRしていくかを考えていきたいと考えております。</p> <p>それから「こどもフラワーアレンジメント教室」ですが、以前はお花の教室ということで行っていたのですが、現代風アレンジし、フラワーアレンジメントに変えたことで、参加者が多くなってきました。</p> <p>そして「自分でつくとこんなに美味しい！！」ですが、これは男性の方を対象とした和食料理の講座です。なかなか公民館の講座に若い男性の方が参加する機会がないというご意見に基づいて、昨年度はこのようなお料理教室という形で講座を始めました。中々好評でしたので、今年度はまた違った形で男性向けの講座を考えていきたいと思っております。</p> <p>次に家庭教育、家庭生活事業として、「ツキイチ交流フィーカ」というものがあります。フィーカというのは、ちょっとした情報交換の場、くつろぎの場という意味です。この講座は月1回、年間を通してやっていますが、それだけではなく、もっとできることはないかということで、協力者が地域の母親の方ということもあり、お菓子を作る等で交流を図れないかといったことも考えております。</p> <p>そして「地域交流会ぬくもり広場」は、高齢者の方を対象としてお散歩や、保健センターの保健師の方を招いて一緒に体操をしたりして、高齢者の方の元氣な活力を今後も発展させていこうというものであります。</p> <p>それから「ふれあい昼食会」、「ふれあい茶話会」というのは、講師の方を呼び、昼食会の中で交流をしていただくものです。この事業には市長や教育長にもご出席いただき、盛大に行っている会でございます。</p> <p>次に「山口子ども文庫・おはなし会」は学習室に本を置き、お子さんに自由に読んでいただき、その中で昔ながらの紙芝居等、集まっておはなしを聞く場を設けているものでございます。</p> <p>それからイベントとして、「山口地区親睦ミニ運動会」というものを開催いたしました。これは室外ではなく、体育館で出来るような、高齢者の方でもあまり負担にならないようなメニューを心掛けて行いました。今年度も実施しようと考えております。</p>
-----------	--

<p>館長</p>	<p>そして山口地区で盛んなのは狭山湖口の運動場で行う「山口地区グランドゴルフ大会」です。こういった内容につきましては、山口まちづくり推進協議会の方で「さわやか」という広報誌を年6回発行しており、これを山口地区の方々に見ていただき、事業に参加していただこうと考えております。</p> <p>残念ながら新所沢東地区には児童館が存在しません。そのため公民館事業では子育て学級や子育てサロンといった子育て支援事業が充実しております。これは企画スタッフや主任児童委員、おはなし会等のボランティアの協力のもとに、運営しております。</p> <p>続いて「夏休みこども広場 ～ 」です。小学生を対象とした事業なのですが、10種目の講座を開設しております、毎年大盛況です。公民館サークルをはじめ、所沢北高等学校の美術部、卓球部、チアダンス部の3つのクラブ活動が小学生の指導をしてくださいます。昨年の様子を拝見しますと、チアダンス部は世界大会にも出場している部活動なのですが、こちらの生徒さんの指導を小学生が真剣な目で受けておまして、最後の発表でも、子どもたちのイキイキとした表情が凄く印象的でした。</p> <p>続きまして「初級ウクレレ教室」です。こちらは成人向けの事業としまして、昨年度初めて開催したものです。15名定員で募集をかけましたところ、申し込みの初日からキャンセル待ちが発生するほどの大人気でした。そして1月から3月に実施した流れもありまして、今年度はこの講座の受講生たちが中心となってサークルを作りまして、今、自主的に活動を行っている状況です。</p> <p>最後になりますが、地域においてこのように何が求められ、何を必要としているのかしっかりアンテナを張って公民館運営に反映させていくことが重要だと思っております。それには、当公民館の企画運営委員会や、昨年設立したまちづくり協議会「しんとこイーストネット」、そして文化祭にも参加していただく地元の商店会、こうした方々との連携を図りながら今後の事業内容を考えていくことが重要だと感じております。</p>
<p>館長</p>	<p>並木公民館は、市役所を起点としますと基地を挟んで反対側にある公民館でございます。並木公民館では事業企画運営委員会の委員と、公民館利用者、講座等の参加者の意見を加味して事業を計画、遂行いたしました。平成27年度に行った主な事業を紹介いたします。</p> <p>始めに、教養の向上としまして「文学講座」ですが、こちらは「蜻蛉日記」について行いました。文学的な教養を高めるとともに、参加者相互の交流を図ることができることから、並木地区では人気の高い講座でした。</p> <p>次に「スティーロパンコンサート&体験講座」でございますが、市内在住の</p>

	<p>スティールパン演奏家を招きまして、参加者とともに演奏する体験演奏を織り込んで、幅広い年齢層の参加者とともに音楽を体感することができました。</p> <p>次に「女性のための講座」ということで、女性のための体育・レクリエーション講座といたしまして、「こころとからだのバランス体操」を行いました。冬の間、体を動かす機会が減る時期に、簡単な体操を組み合わせた4回の講座を行うことにより、心と体の健康増進を図りました。</p> <p>家庭教育といたしましては、「あかちゃんひろば」、「0歳児の子育て講座」を開催しています。子育てに関する不安や孤立感の軽減を目指して行っております。春と秋にそれぞれ5回の連続講座として行いまして、子育てに関する講義を行うとともに、生まれたばかりのお子様を持つ保護者の仲間作りも出来るようにいたしました。</p> <p>次に「ホール事業」といたしまして、二代目高橋竹山さん他による津軽三味線の演奏会を、ホールの企画委員さんの尽力により行い、身近な場所で伝統芸能を堪能できる機会となりました。</p> <p>その他、地域全体のスポーツ・レクリエーション事業といたしましては、10月第1日曜日に「並木ふれあいフェスティバル」を行いました。</p> <p>また公民館活動の交流といたしまして、11月の第1土曜、日曜に「並木公民館まつり」を行いました。また年間を通じて、各種スポーツ大会を行うことによりまして、地域の交流を図りました。</p>
委員長	<p>ただ今、各まちづくりセンター長から、各公民館事業について説明いただきましたが、今ご説明いただいた事業を含め、興味を持たれた事業がありましたら、委員の皆様からご意見や質問をお願いします。</p>
委員長	<p>並木公民館の館長にお聞きしたいのですが、企画運営委員会というのはどういったものなのでしょうか。</p>
館長	<p>年に2度程しか開いてはいないのですが、企画委員さんにお話を伺い、こういった事業が良いのではないかといいことを話していただき、ホール事業に関しましては、コンサート運営だけでなく、どういう人をお願いするかといった事も決めていただいています。</p>
委員長	<p>企画運営委員さんは何名くらいいるのですか。</p>
館長	<p>10名程度です。</p>

委員長	他に質問等ありませんか。
委員長	過去の事業についてお聞きしたいのですが、私は吾妻の公民館にお世話になっているのですが、以前、「郷土史講座」に参加していたのですが、非常に立派で楽しい講座でした。その講座が平成26年度までは行われていたと思うのですが、平成27年度の事業報告集には載っていないように見えます。60～70代の方からすると非常に人気のある講座です。そういった講座がなくなってしまったのは残念です。是非開催していただけたらと思います。
館長	今お話しいただいた「郷土史講座」ですが、平成8年から平成26年まで開催いたしました。平成27年度は、他の講座を加味した結果お休みさせていただきました。平成28年度は名を改めまして「吾妻教養講座・久米の歴史 その生い立ちと時々のお話」と題しまして、平成27年度に市の紡ごう絆地域応援補助金を活用して作成した「久米の歴史」という本を教材としまして、郷土史講座を今年度は年4回で進めていきます。
委員長	ありがとうございました。その他質問等ありますでしょうか。
副委員長	説明の中に高校と連携している講座があったのですが、中学校と連携している講座はあるのでしょうか。
館長	中学校と連携する講座はありませんが、地元中学の生徒さんが荒幡富士で清掃活動を年に2回実施しています。中学生に、郷土の歴史である荒幡富士を学びながらボランティアに参加してもらおう地区行事がございます。
所長	公民館事業ではないのですが、生涯学習推進センターでは、毎年夏に体験学習ということで「星空フェスティバル」を開催しています。その中で昨年度から、コーナーの一角に、中学校の科学部の生徒さんに作品を展示していただいております。科学に関する展示や実験を、体験学習会の中で催していただいております。
委員	中学校の関係なのですが、中学生というより小学5、6年生を誘って、清掃活動や盆踊りに参加させ、引っ張っていこうという話が地域で出ています。
委員	新所沢地区では文化祭で中学生の作品展示をしております。利用者サークル

委員	<p>さんの発表という色が濃いのですが、まちづくりセンターになってからは、地域の文化祭ということで、地域の方もですが、あえて学校に声をかけ、向陽中学校の美術部や美術部ではないが賞をもらった生徒や、北小学校、清進小学校の生徒の作品も展示しております。</p> <p>所沢中学校の紹介をしますと、地域清掃、春の「環境美化の日」があり、700人ほどの生徒が参加し、保護者も含めると1000人単位でその日の午前中に清掃活動をします。そこに先生方が地域ブロックで2、3名割り当てられ、春、秋の地域清掃や夏のお祭りにも、地域の方々との懇談会にも参加します。こうして年間を通じて先生方が地域の担当になります。また、先ほども紹介があったのですが、中央公民館のホールを借り、全学年の美術の作品を展示し、子どもたちがそこへ行き作品の紹介をするというイベントを2日間開催します。また、合唱関係では、演奏会前にホールを借りて練習したり、敬老会等で演奏する場があったりします。講座の中に中学生を呼び込むというのは、継続的には難しいと考えますが、部活で、何曜日は小学生や大人の方と一緒に活動するというようにすれば、出来なくはないのかなと思います。また学習支援も勉強会等であれば、出来なくはないのかなと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。事業報告集について、事務局から他に何かありますか。</p>
事務局	<p>平成27年度の全館の利用人数は前年度に比べ、1.7%の増となっております。社会教育課では、事業報告集の取りまとめですとか、今後公民館の職員の研修等を企画させていただき、担当者会議の中でも、各公民館の主催事業や、講座につきましては、研修や情報交換をしながらお互いの良い部分を拾っていきながら改善していきたいと考えております。</p>
委員長	<p>議事(1) 地域づくりにつながる公民館事業</p> <p>それでは次に「公民館事業のあり方」について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>前回の公民館運営審議会におきましては、「子どもの体験活動」「地域の人材育成」「地域の財産」の視点で議論していただきましたが、「子どもの体験活動」と「地域の財産」につきましては、各公民館から提供していただいたものをまとめたのが、資料1「子どもの体験活動」と、資料2「地域の財産」になっております。</p>

	<p>内容につきましては、先ほど紹介していただきましたので、省略します。各公民館で、多くの子どもの体験講座が行われており、各地域においては、特色のある財産がありますので、こちらを生かした活動が行われていると考えております。今後は、地域の財産等を活用しながら、地域の学習ニーズや課題に即した事業や講座の実施が益々求められ、行政もそれに応えていく必要があるのではないかと考えます。公民館については、資料の「公民館関係 法規関連資料」にも掲載しましたが、教育基本法の中に生涯学習と社会教育があり、社会教育法の中で公民館が位置づけられ、市の公民館設置及び管理条例の中で公民館運営審議会が定められています。教育委員会では、学校・家庭・地域が一体となって教育行政を推進していくことを目指しています。その中で、公民館は地域の活動拠点として重要な役割を果たしています。</p> <p>平成23年4月にまちづくりセンターが開設され、組織変更により、公民館もその機能の一端を担うこととなり、組織一丸となって地域住民とともにより良い地域づくりに取り組んでいます。</p> <p>各まちづくりセンターにおいてはまちづくり協議会が設立され、地域の課題解決に取り組みながら、豊かな活力ある地域社会を実現するための活動が行われています。そのような地域活動の中で、公民館の役割や、公民館事業のあり方について、各委員さんのご意見がいただければと思います。</p>
委員長	<p>今、事務局から説明がありましたが、公民館が事業を展開していく上で、今後、どのように住民の意見をくみ取って、今ある事業を改善し、新しく事業を実施していけばいいのか。各委員から意見を求めます。</p>
委員長	<p>まちづくり協議会では公民館事業についての意見は出ているのでしょうか。</p>
館長	<p>小手指では平成26年1月、小手指まちづくり協議会が発足しました。現在、公民館に関連する事業につきましては、協議会の地域振興部会が中心となって公民館事業と協議会事業とを分け隔てすることなく、様々な事業の展開に取り組んでいこうと進めているところでございます。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。委員の皆さん、他にご意見等ございますか。</p>
委員	<p>それぞれの事業については、他の地区にそれぞれ根付いている伝統等を参考にすると良いと思います。サークル等各組織は、それぞれ高齢化等で事業が行き詰っていると思います。それに関しては先ほども話があった様に地域の子どもを引きずり込むのがいいと思います。</p>

	<p>一番問題なのは、仕事をしていて、事業に参加したくてもできない人たちがいることだと考えます。そういった人たちが年に1、2回でも地域の事業に参加できるような、大きな行事があればいいと思います。松井地区でも、そういった大きな行事ができないかと模索しているところであります。そして、地域にあったイベントをしっかりと行っていけば、コミュニティが広がり、良いまちづくりになると考えます。</p>
委員	<p>地域の財産ということで、三ヶ島地区では毎年、よさこい祭を開催しているのですが、それに地域が乗っていきまして、大きな祭を開催しました。現在そういった、三ヶ島地区の新たな大きな事業を模索しているところでございます。</p>
委員長	<p>公民館事業ではないのですが、荒幡小学校の裏のドレミの丘で、5月5日に音楽祭を開催しました。これには、多くの著名な方に演奏していただきました。このイベントには地域の方が300人ほど参加し、これこそ本当の地域の親睦、絆を深める素晴らしい行事だったと考えております。</p>
委員長	<p>それでは、次に「その他」に行きたいと思います。 事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>議事（２）その他</p> <p>公民館と社会教育課の共催・協力事業につきましては、現在、大きな事業として、人権教育ブロック別研修会、育成者研修会、成人のつどい事業の3つを共催協力事業としてお願いしております。</p> <p>人権教育ブロック別研修会についてですが、公民館事業報告集のP93ページに昨年度の実績を掲載しております。地域の要望や課題解決を目的とした事業も大切ですが、行政の責務として、差別をしてはならない、どのような行為が差別にあたるかなどの人権問題を広く市民に対して啓発していくことも社会教育の大事な事業であると考えております。本年4月1日からは、障害者差別解消法が施行され、不当な差別的取り扱いの禁止や合理的配慮の提供が法律で定められました。今後も、多くの地域住民の方に参加いただくためには、各公民館のご協力が不可欠となりますので、今年度の人権教育ブロック別研修会の開催の際には、地域の各団体への参加の働きかけをよろしく申し上げます。</p> <p>次に、子ども会育成者研修会についてですが、資料（子ども会育成者研修会日程一覧）をご覧ください。毎年、市内に21校区ある子ども会育成会の役員改選時期に合わせ、3月から4月にかけて、公民館事業として8地区の公民館</p>

<p>委員長</p>	<p>で地域研修会を開催しております。地域で子ども育てることを目的に、地域住民の活動拠点でもある公民館において事業を行っております。公民館事業報告集の8ページをご覧ください。ちょうど、真ん中あたりに中央公民館で行った子ども会育成会研修会が掲載されております。他の公民館においても同様の内容が掲載されております。</p> <p>成人のつどい事業についてですが、毎年、各公民館を中心に地域で組織された「成人のつどい実行委員会」による分散方式により、地域の方々と交流を図りながら行っております。公民館事業報告集の9ページをご覧ください。中央公民館で行った「成人のつどい」が掲載されております。他の公民館においても同様の内容が掲載されております。</p> <p>資料（平成27年度第69回所沢市成人のつどい出席者数）をご覧ください。平成27年度につきましては、市内全体で69.4%の出席率でした。</p> <p>その他、家庭における教育力の向上に向け、社会教育課の事業である家庭教育学級の講座を公民館でもおこなっております。</p> <p>また、教育委員会では、学校・家庭・地域が一体となった取組として学び創造プランを進めています。</p> <p>ただ今、社会教育課長から、公民館と社会教育課の共催・協力事業について説明いただきましたが、委員の皆さんから意見や質問がありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>成人のつどいの出席数についてですが、清水国明さんが来ると周知した結果、保護者の方が多く集まり、喜んでいました。</p>
<p>委員</p>	<p>私は昨年度吾妻地区の成人のつどいに出席させていただきました。普段は保護者の方は中に入れないのですが、自治会の方の指示で多少式を見られるようにしたところ、非常に喜ばれていました。</p> <p>また、質問なのですが成人のつどい出席者数の資料の一番下に、「富岡地区は4校（富岡・向陽・中央・北野）の中学校区にまたがり、多くが他地区に出席しています。」とありますが、北野中は少し離れているように思いますが、たまたまその地区に住んでいる方が居たということでしょうか。</p>
<p>館長</p>	<p>北野中学校につきましては、富岡地区の中の北中地区の一部に、学区がまたがっています。</p>
<p>委員</p>	<p>成人のつどいに保護者が入れるか入れないかの話が出ましたが、施設の大き</p>

委員	<p>さや対象となる成人の数によるのかもしれませんが、新所沢地区では、保護者の方を入れたことはありません。他の地区はどうでしょうか。</p> <p>松井地区では、成人のつどいには新成人しか入れないようになっています。</p>
委員長	<p>吾妻も同様ですよ。</p>
館長	<p>はい。ですが式典後の宴には入っています。保護者の方の気持ちを汲み、立ち見にはなるのですが、入っていただきました。今後はその件についても考えていく余地があると思います。</p>
委員	<p>新所沢東地区では、過去に保護者の方を入れたことがありましたが、結果として方向を変え、保護者の方には理解していただき、成人のつどいには保護者の方はいれないということになりました。他の地区で入れてしまうと、他の地区では入れているのにという声が出てきてしまいますので、他の地区においても保護者の方はいれないでいただきたいと考えております。</p>
委員	<p>小手指地区では、式自体は体育館で行い、その後の2部はホールでクラス単位での写真撮影を行っています。</p>
委員	<p>富岡地区は非常に出席率が低く36%程です。昔の所沢は全体で成人のつどいを行っていましたが、これはもう出来ないものなのではないでしょうか。</p>
部長	<p>所沢市では各まちづくりセンターを中心に成人式を行っています。出席率につきましても、地区によって多少のばらつきはありますが、ある程度維持できています。また、地域の方々が実行委員になって開催していただくということで、地域の交流を重視して行っております。市全体で成人式を行えば出席率が上がるということでもありませんし、恩師に会い、同窓会のような雰囲気もできるため、所沢市では今後も分散方式での成人式を行っていきたいと、今現在は考えております。</p>
委員	<p>恩師につきまして、私はいくつかの会場に出席しているのですが、地区によって、呼んだ恩師の扱いにばらつきあるように感じます。それぞれの地区の歴史によるのかもしれませんが、差があると少し寂しく思います。昨年のお話なのですが、2部で行うレクリエーションにおいて、上手く恩師と新成人の交流が行えていました。</p>

委員	<p>中央地区の成人のつどいの実行委員長を一度経験しました。2部のビンゴ大会は新成人の方に任せているのですが、そのビンゴ大会において商品を渡すプレゼンターに恩師を起用し、上手く交流を図っていました。</p> <p>また、保護者の件に関しまして、中央地区では会場が広いこともあり、積極的には呼びませんが、会場に来られた保護者の方は中に入れるようにしていました。</p>
委員長	事務局よりほかにありますか。
事務局	<p>今回、公民館事業のあり方についてご協議いただきありがとうございました。先ほど、地域のニーズを吸い上げる方法や、新しい事業の立ち上げ、改善等、様々な課題が残っていると思います。この事業報告集の中でも満足度といったものを載せていますが、事業を行った後、公民館で良かった点や改善すべき点等のアンケートを各公民館で工夫して行っております。これまでと同じ事業ではなく、地域の方がどういったものを望んでいるかにつきましては、また次回の会議でもご協議いただきたいと思いますと考えていますが、アンケートにつきましても、満足度だけでなく、どういった講座があるといいかの問いかけのようなこともし、人が集まるように工夫していければいいと社会教育課では思っております。</p>
部長	<p>補足なのですが、地域づくりに繋がる公民館事業というのは、具体的には難しい課題だと思います。ただ、まちづくり協議会が出来まして、地域の課題について議論しています。例えばこの地区は高齢化率が高いという話や、先ほども話に出た、新所沢地区には児童館がないため、子どもの遊び場として10個の講座を作っている等、そういったことが大切だと考えています。どの様に地域のニーズを探っていき事業に展開していけるか、それは利用者の方のニーズを探ることや、まちづくり協議会で充分議論していく中で、公民館事業はどういったことが必要なのか、そういったことをテーマとして議題にあげていただければ、公民館事業につながるのかなと考えております。今回各地区の状況を出していただきましたが、そういった具体的な地区の状況に応じて、今後の公民館事業が展開されればと思っておりますので、引き続きみなさんのご意見を会議以外でもお寄せいただければと思っておりますので、よろしくお願いたします。</p>
委員長	ありがとうございました。質問ですが、まだまちづくり協議会がない地区も

主幹	<p>あると思います。そういった地区の見通しをお聞かせください。</p> <p>現在 11 地区のうち 8 地区に協議会が立ち上がっております。今年の 7 月に柳瀬地区で協議会が立ち上がる予定で準備を進めております。地域の事情により協議会が立ち上がっていない地区は、所沢地区と吾妻地区でございます。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。事務局よりほかにありますか。</p>
事務局	<p>次回の公民館運営審議会は、秋の 11 月を予定しております。先ほど申し上げた議題の他に、委員さんの中でもなにか議論すべきだと思うものがあれば、社会教育課にご意見いただければと思います。事務局からは以上です。</p>
委員長	<p>皆さん、他に質問などありますか。</p> <p>では、他になければ、これで議事は終了いたします。</p>
事務局	<p>4 事務連絡</p> <p>委員長さん、議事進行ありがとうございました。</p> <p>続いて、事務連絡をさせていただきます。</p> <p>今回、マイナンバー関係の書類提出をお願いしては、本日、ご提出いただけていない委員さんにおきましては、次回の会議にご持参いただきますようお願いいたします。</p> <p>本日はご多用のところ委員の皆様にはご出席を賜りありがとうございました。最後に閉会のあいさつを佐藤副委員長にお願いします。</p>
副委員長	<p>5 閉会</p> <p>本日は各公民館の館長から事業について、それぞれの非常に充実した取り組みや特徴についてお話がありまして、今後の公民館事業のあり方を、特に地域づくりとの連関で議論していく方向で事務局からも説明がありましたので、次のステップに期待したいところであります。</p> <p>若干時間がありますので、感想を述べさせていただきたいと思います。</p> <p>地域づくりというのは公民館にとって、ある意味自明なことですので、今まで地区ごとに積み上げてきたものが、どの様な意味で地域づくりになっているのか、しっかり振り返ることも大切だと思います。ただ、委員長からもお話がありましたが、自分が生きている間に、これほど多くの大災害を経験している時代というのはおそらく無い様な事態となっておりますので、公民館というものを改めて、安全な暮らしやすい地域にするためにはどうしたらいいかという</p>

観点で、公民館の持てる資源、あるいは人のネットワークというものを、どの様に活用していくかということは、全国の公民館で問われていることだと思います。私も所沢以外に2つの地域で公民館運営審議会委員や社会教育委員を務めており、また多くの講演に招かれています。地域づくりを目指す公民館というテーマに大きな関心が集まっています。このテーマは漠然としている面もありますが、同時に50年～70年近い公民館活動の歴史があり、それを踏まえながら現在の地域の課題あるいは人々の暮らしの変化というものをしっかり見つけ、公民館としてどうとりくむか、議論することが大事になっていると実感しております。

また、本日お話を伺ったところ、子育てや子どもたちに関する事業は特に充実しているというのが率直な感想です。体験型活動もほとんどの公民館で取り入れていますので、小学生や幼児とその保護者と公民館という関係が機能していて、改めて、公民館は大切な役割を果たしていると思えました。しかし、体験型活動、アクティブラーニングが、成長・発達にどういった意味があるのかということをしっかり教育論として詰めるということが大切だと思います。学校教育と社会教育の違いの根本にも関わってくると思いますが、子どもたちが地域で体験することの意味、そこで学ぶことの意味とは何かということを考えることが課題だと思います。参加人数や回数だけで評価するのでは不十分です。学校や家庭では出来ないことが地域で学べるのだということを、しっかり抑えた議論を掘り下げていきたいと思えます。所沢の公民館は多くの住民が集まり素晴らしいですが、最近では税金を納める側も、それを受けて市長部局の側も、説明責任を求めていますので、これだけの事業でこういう効果があるのだということを、自信をもって言えるよう、是非掘り下げていきたいと思えます。

現在日本は少子化に悩んでいます。昨日の発表で若干回復したそうです。所沢は子育てしやすいと実感できるような繋がり作りという点で、所沢市の公民館は実績を残していると思えますので、その辺りの事業の意味というものを、ひとつ今後の検討の視点にいただければなと思えました。

また、少し足りないと思う部分もありました。本格的な学びの講座が少ないのではないかと。つまり、楽しい、交流する、足を運ぶというところでは工夫されていますが、深く学ぶというところではどうなのだろうか。定年退職した男性の方も含め、「これからの暮らしを考える上で、しっかりと学びがしたい」と思っている方が居るかもしれない。そして今日大きなテーマにはなりませんが、働いている方、定年退職したら地域に顔を出したいと思っている方等、今までは地域に縁がなく仕事を頑張っていた方が地域に戻るときに、どういことを求めて戻ってくるのかを考えたとき、「本格的に学べる」ということは、一つのキーワードになるのではないかと私は思います。皆様の経験

的な意見を考慮しながら、公民館に来ていない階層、グループのニーズを今後どのように捉えていくのか、これが本日深められていない二つ目の課題になるのではないかと思います。

また、その発展形でもあるのですが、他の地域で公民館の話を知ると、公民館というのは集まって楽しんだり、サービスを受けたりという、受け身の方が増えている一方で、能動的に地域の問題も含み自らNPOを立ち上げ、公民館とは別のところで活動している方々が居ます。そういった人たちは力量を持っている地域の人材です。すでに自律的に活動されている方と公民館がどのようにパートナーシップを組んで、必要な住民のニーズに応えていくのかという視点も大切だと思います。私は先日たまたま国分寺市の視察で平塚に行きましたが、そこではまちづくり大学といって、まちづくりに関する人材育成をされており、市が全面的に支援しています。つまり、各地域でそれぞれのニーズに応えるだけでなく、広域的に見て、まちづくりに力を発揮していただく方の育成を、全市的にNPOと連携して大学という形で行っていました。そういったことが他の地域ではなかなか出来ず、こうしたニーズに応えるNPOが存在しないという声もあります。そういったNPOを育てていくことも必要なのではないかと思います。学習から実践できる主体へという流れをどのように作っていくのかということで、地域で活動する方を何倍にも増やしていく見通しや、課題解決型の活動をする団体のニーズがいま社会の中で深まっているのではないかと思います。例えば防災の局面において、防災の訓練で終わるのではなく、災害時にリーダーとなって活躍していただける方を育てられる3年ほどかけた本格的な講座。そうした学習というものが地域で力を発揮してくださる人々を育てるという視点からも、学習から実践能力へという流れで、地域課題を解決する力量を育てる学習がどのように展開されるべきかということ、本腰を入れて考えていかないと、時代や地域のニーズには合わないのではないかと思います。

岡山で国際大会が開かれ、持続可能な地域社会を作るということで、そのためには環境保全や地域文化の継承や食、子育て等、様々な切り口はあると思いますが、今は地域づくりという古典的なテーマだけではなく、国際化、グローバルな時代の環境保全、ESDという様な事と切り結ぶ公民館ということで、高いレベルの学習機会を提供できる場所としての公民館の可能性も全国的に問われているのではないかと思います。

人々が集まりやすい公民館というのは第一に大事なことですし、子どもからお年寄りまで様々な人々が集まっていることも大事なことです。それを踏まえて、そこから更に次のステップということ、次回の会議で議論できればと思います。

司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして第1回公民館運営審議会を終了とさせていただきます。</p>
----	--